

第2回評価委員会からの第二期中期目標（案）変更箇所について

1 ページ 前文 7行目	
変更前	「全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる」大学像を着実に実現していく使命をもつ。
変更後	全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学像を着実に実現し、 <u>我がまちナゴヤの大学と実感できるよう取り組んでいく</u> 使命をもつ。
変更理由	公立大学法人として市民により身近に感じてもらうためのスローガンの意味づけから追記。

2 ページ 前文 率先した取り組み 3)	
変更前	3) 名古屋市立大学は、名古屋市民によって支えられる市民のための大学であることから、市民及び地域への教育研究成果の還元を通じて、名古屋市の行政課題の解決を始めとした地域社会の発展に寄与する。
変更後	3) 名古屋市立大学は、名古屋市民によって支えられる市民のための大学であることから、 <u>市民等からの寄附を教育研究などに役立てるとともに</u> 、市民及び地域への教育研究成果の還元を通じて、名古屋市の行政課題の解決を始めとした地域社会の発展に寄与する。
変更理由	公立大学法人としては市民との繋がりが重要であり、市民により身近に感じてもらい、市民からより力添えをもらえるような大学になる必要があること、また寄附を始めとした外部資金獲得が法人運営の上で重要な柱となっていることから追記。

7 ページ IV 財務内容の改善に関する目標	
第2 自己財源の確保及び経費の抑制に関する目標	
変更前	法人運営に必要な自己収入の増加に努めるとともに、業務の見直しを推進し経費の抑制を図る。
変更後	1 法人運営に必要な自己収入の増加に努める。 <u>とりわけ、市民や同窓生から広く寄附が寄せられるような仕組みづくりに取り組む。</u> 2 業務の見直しを推進し、経費の抑制を図る。
変更理由	率先した取り組み 3) の変更理由と同じ